

## “IntroJAPAN” 「街マップ」の作成支援プログラムの開始について

2016年9月20日

一般社団法人ゲートウェイ・アップ・ジャパン

9月7日公表の「“OMOTENASHI App”と“IntroJAPAN”について」を今後展開していくに当たり、私たち GAJa は、地方自治体、地域団体、事業者等と協力しながら、持続可能な（継続して自走していくことができる）事業モデルの構築に取り組んでまいります。

“IntroJAPAN”は、外国人が日本の各地の写真や外国語のメッセージをスマートフォンや PC で楽しみ、検索する Web アプリケーションです。このコンテンツを街の地図にマッシュアップして外国人の案内に利用しようという試みが「街マップ」作成支援プログラムです。「街マップ」には、“IntroJAPAN”のコンテンツだけでなく、街として発信したい情報もマッシュアップするようにします。翻訳費用がかかり、情報がすぐに古くなることを、外国人が発信する新しいコンテンツを利用することで解決し、全国に普及しようという企画です。

もっとも、“IntroJAPAN”に投稿されるコンテンツの厚みが増して、自然に「街マップ」ができあがるようになるには、時間がかかることでしょう。それでも、“外国人留学生 Intro”や“WonderJAPAN”の施策と組み合わせたり、既存の旅行サイト等と連携したりすれば、コンテンツ不足の対策になります。

街中の見どころ、食べどころ、遊びどころ等が「街マップ」に紹介されていれば、例えば、ホテルのフロントでタブレット端末を使い外国人の宿泊客にその国の言葉で街案内できるようになります。宿泊客のスマートフォンから簡単にアクセスしてもらうこともできます。

「街マップ」の需要は、外国語だけでなく日本語にもあるでしょうから、同じ情報システムを使って日本人向けに情報提供することにも使えるでしょう。日本語での情報発信であれば、自分たちでコンテンツを作ることもできます。そういう意味で、「街マップ」は街が「育てる地図」です。そうして充実されていくコンテンツが“IntroJAPAN”のコンテンツを増やすことにつながります。

GAJa では、このような「街マップ」を作成するためのアプリケーション開発・提供に携わる事業者とその事業モデルを募集します。詳細は、下記の事務局にお問い合わせ下さい。

問い合わせ先：

一般社団法人 GAJa 事務局

担当：小松崎 [komatsuzaki@ga-ja.com](mailto:komatsuzaki@ga-ja.com)